

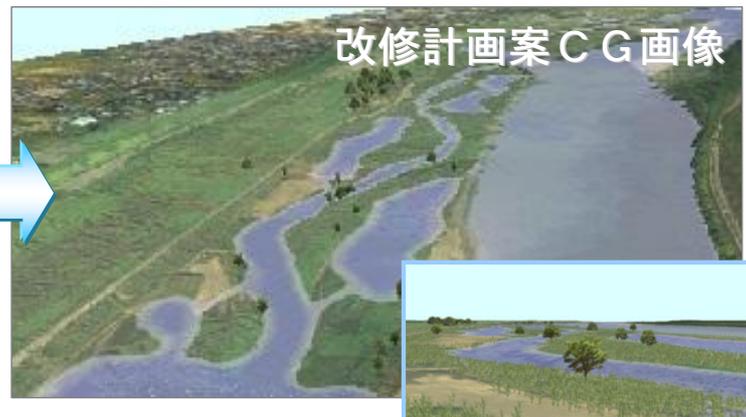
リバフロビューアー

～河川の“見える化”による、住民との合意形成を踏まえた河川行政のために～

リバフロビューアーとは

コンピューターのCG機能を活用して、コンピューター画像の中で現況をスタートにして、どなたでも(担当者等)が直接に自由に掘削、盛土を試みることができ、試行錯誤しながら、「多自然川づくり」など自然豊かな水辺や景観を計画・設計することができるソフトです。
また、計画・設計した河道や水辺に樹木、植生、動物、石、護岸などを設定することができ、水位も自由に設定できるため、整備完成後のイメージが掴み易く、維持管理の検討等にも役立てることができます。

3次元表示の導入による高度な空間デザインを支援(例:整備イメージ)



リバフロビューアーの主な特徴

■河道形状等の計画(掘削・盛土)

現地形をベースに、画像で自由に掘削・盛土ができ視覚的に確認しながら河道形状を変化(操作)することが可能。また、変化させた土地の概ねの土量を把握が可能。



■修景の計画

画像上に、樹木・植生・動物及び人物などを添景することができ、修景イメージが掴みやすい。また、水位を変えることもでき、水面の高低による景観イメージを確認することが可能。

■鳥瞰位置の変更



リバービューアーの活用場面例

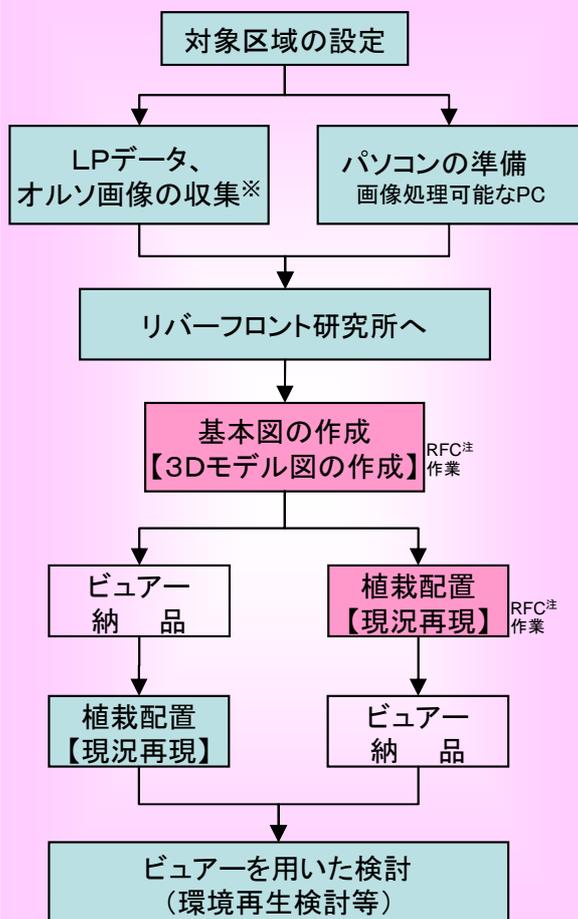
河川管理者等が、河道計画・多自然川づくり、まちづくりなどの検討での活用や、住民説明会等において、住民の方々と、一緒になって、画像を確認しながら、川づくりを行うこと、住民の方々と同じイメージを共有することができる。

- 地元住民との説明会 【その場でイメージを修正可能】
- 計画・設計時のイメージ共有 【特に、ワンド・浚渫工事等の土量検討に有効】
- 河川管理、河川工事、維持管理への利用【樹木管理、河道掘削等】
- 景観イメージ共有 【川から堤内地を見る、橋から川を見る、堤防から見る、空から見る等】



「トキと共生を目指した水辺づくり座談会にて」(2010.7.3)

リバービューアーを用いた業務の流れ



注:リバーフロント研究所略称
※:数値地図、市販航空写真を用いることも可能

その他機能 (断面・容積計測)

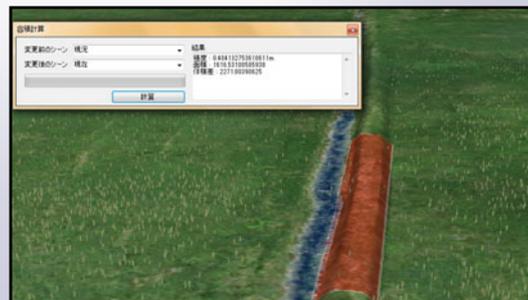
■ 河道断面の計測



- ・ 水面断面積計測
- ・ 水位の任意変更
- ・ DXF形式保存

■ 盛土量の計測

- ・ 地形編集前後の容積差計測
- ・ 平面 (投影) 面積計測



リバービューアー活用事例

- 新潟県佐渡島(天王川) 湿地再生検討計画
- 利根川中流部 河川環境再生の検討
- 東日本大震災 被災地復興計画検討

【お問い合わせ先】 公益財団法人 リバーフロント研究所

主席研究員: 渡邊 茂 研究員: 阿部 充、和泉谷 直毅 職員: 茂木 千佳子

TEL: 03-6228-3863 FAX: 03-3523-0640 e-mail: riverfront_viewer@rfc.or.jp